

令和3年度第1回練馬区立美術館運営協議会次第

日時：令和3年11月24日（水）午後2時

場所：サンライフ練馬 研修室

（審議事項）

- 1 令和2年度事業報告
 - （1）展覧会事業
 - （2）教育普及事業
 - （3）美術作品の収集事業
 - （4）施設利用状況
 - （5）広報活動と反響

（報告事項）

- 2 令和3年度事業計画（中間報告）
 - （1）展覧会事業
 - ① 「8つの意表 ～絵を描く、絵に描く、画家たちのキセキ～」展
 - ② 「没後20年 まるごと馬場のぼる」展
 - ③ 「ピーター・シスの闇と夢」展
 - ④ 「収蔵作品による 小林清親 【増補】ーサプリメントー」展
 - ⑤ 「生誕110年 香月泰男」展
 - （2）教育普及事業
 - （3）新型コロナウイルス感染症対策
- 3 その他

令和3年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(令和3年11月24日)

令和3年度第1回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 令和2年度事業報告	
(1) 展覧会事業	5
(2) 教育普及事業	
① 令和2年度教育普及事業実績	7
② 令和2年度博物館実習受入実績	13
③ 令和2年度美術館サポーター活動実績	14
(3) 美術作品の収集事業	
① 令和2年度美術作品の収蔵状況	15
② 令和2年度練馬区立美術館寄贈・寄託等リスト	16
③ 令和2年度収蔵品貸出一覧	18
④ 令和2年度美術館収蔵品データベースに対する反響	19
(4) 施設利用状況	20
(5) 広報活動と反響	21
2 令和3年度事業計画（中間報告）	
(1) 展覧会事業日程	27
① 「8つの意表 ～絵を描く、絵に描く、画家たちのキセキ～」展	28
② 「没後20年 まるごと馬場のぼる」展	29
③ 「ピーター・シスの闇と夢」展	30
④ 「収蔵作品による 小林清親 【増補】ーサプリメントー」展	31
⑤ 「生誕110年 香月泰男」展	32
(2) 教育普及事業	
① 令和3年度教育普及事業計画	33
(3) 新型コロナウイルス感染症対策	35

第 18 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハシ コウジ 高橋 幸次	国際ファッション専門職大学教授 元日本大学芸術学部 教授
	アオキ シゲル 青木 茂	明治美術学会顧問
	イズイ ヒデカズ 伊豆井 秀一	元埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	美術史家
	シマダ ノリオ 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬淵 明子	日本女子大学名誉教授
練馬区議会 議員	コイズミ ジュンジ 小泉 純二	区議会議員
	しもだ レイ しもだ 玲	区議会議員
	サワムラ シンタロウ 沢村 信太郎	区議会議員
	ツチヤ トシヒロ 土屋 としひろ	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	サイトウ ノリコ 齋藤 宜子	公募区民
	ハタ チエコ 畑 智江子	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロウ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	エガワ サトシ 江川 誠志	区立中学校校長
	トヨダ カツシ 豊田 克史	区立小学校校長

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月8日

条例第45号

(設置)

第1条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第3条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8人以内
- (2) 練馬区議会議員 4人以内
- (3) 区民 3人以内
- (4) 美術団体関係者 2人以内
- (5) 学校教育関係者 2人以内

2 前項第3号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第6条 協議会に会長および副会長を各1人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則 (平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則 (平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 令和2年度事業報告

(1) 展覧会事業

令和2年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア) 企画展

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月2日(火) ～6月28日(日) ※	日本・ポーランド国交樹立100周年記念 シヨパン - 200年の肖像	24	13,200	10,383	78.7%
			(550)	(433)	
10月11日(日) ～12月6日(日)	式場隆三郎 脳室反射鏡	49	12,250	4,663	38.1%
			(250)	(95)	
2月28日(日) ～4月18日(日)	電線絵画展 - 小林清親から山口晃まで -	43	15,050	14,099	93.7%
			(350)	(328)	
	合 計	116	40,500	29,145	72.0%
			(349)	(251)	
	前年度	237	62,580	62,976	前年度比
			(264)	(266)	46.3%

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により開幕を延期
当初予定 会期: 4月26日(日)～6月28日(日) 開催日数: 55日

(イ) コレクション展

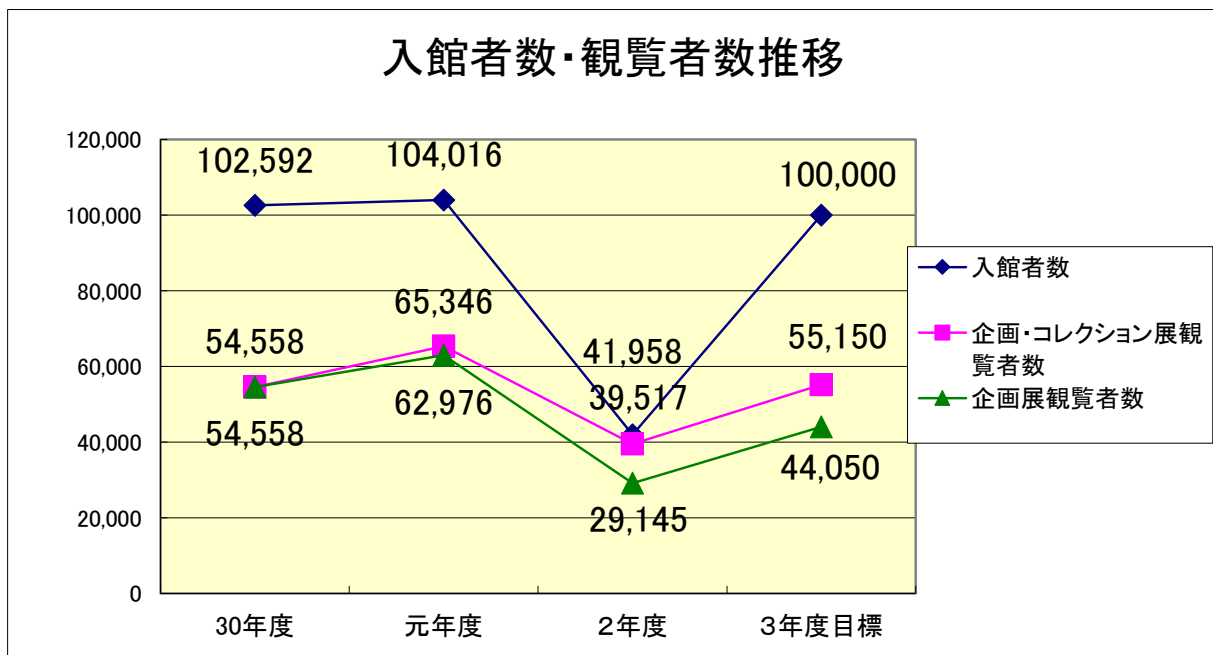
開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
7月8日(水) ～8月2日(日)	練馬区立美術館開館35周年記念 Re construction 再構築【プレ展示】	23	2,990	1,248	41.7%
			(130)	(54)	
8月9日(日) ～9月27日(日)	練馬区立美術館開館35周年記念 Re construction 再構築【本展示】	43	8,600	4,134	48.1%
			(200)	(96)	
12月12日(土) ～2月14日(日)	練馬区立美術館開館35周年記念 35年の35点	50	8,000	4,990	62.4%
			(160)	(100)	
	合 計	116	19,590	10,372	52.9%
			(169)	(89)	
	前年度	18	1,800	2,370	前年度比
			(100)	(132)	437.6%

企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	元年度	2年度	前年度比
	65,346	39,517	60.5%

(ウ) 各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
7月10日(金) ～7月19日(日)	第66回練馬区美術家協会展	0	中止	
1月16日(土) ～1月21日(木)	小学校連合図工展	0	中止	
1月23(土) ～1月27日(水)	中学校生徒作品展	0	中止	
1月30日(土) ～1月31日(日)	小・中学校連合書きぞめ展	0	中止	
2月6日(土) ～2月14日(日)	第52回練馬区民美術展	8	1,603	
合計		8	1,603 (200)	前年度比 5.4%
前年度		28	29,442 (1052)	

入館者数比較	元年度	2年度	前年度比
	104,016	41,958	40.3%



(2)教育普及事業

①令和2年度 教育普及事業実績

令和3年9月30日作成

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数は減少した。

① 関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
電線絵画展関連ワークショップ	新電線風景画【A】 3月28日(日) 10:30~12:30	眞子 みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞後、20種類の名画コピーから1点をイラストボードに写し、その風景に電柱電線を描き込んで新しい風景画を完成させた。	小学生以上	300円 (材料費)+ 当日の 観覧券が 必要	各回 10名	17	9	
	新電線風景画【B】 3月28日(日) 14:00~16:00						10	10	
動画による過去のワークショップ紹介	5月19日(火)~ 公開	眞子 みほ 小野 寛子 (当館学芸員)	過去に実施したワークショップ2本を動画で再現して配信	—	—	—	—	2,088 (再生 回数・3 月26日 現在)	
							27	19	
					計2回 参加者延19名 動画再生回数 2,088回				

② ギャラリートーク・アーティストトーク・スライドトーク

事業名	日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
シヨパン - 200年の肖像	5月13日(水) 15:00~15:30	小野 寛子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラリートーク ※中止	—	当日の 観覧券が 必要	—	—	—	
	6月4日(木) 15:00~15:30			—		—	—		
シヨパン - 200年の肖像	5月11日(月)~ 公開	とに~ (アートテラー) 小野 寛子 (当館学芸員)	シヨパン展の見どころをトーク形式で紹介した動画を配信	—	—	—	—	2,811 (再生 回数・3 月26日 現在)	
Re construction 再構築	8月9日(日) 15:00~16:00	出品作家 青山 悟	出品作家によるアーティストトーク ※中止	—	当日の 観覧券が 必要	—	—	—	
	8月29日(土) 15:00~16:00	出品作家 富井 大裕		—		—	—		
	9月12日(土) 15:00~16:00	出品作家 大小島 真木		—		—	—		
	9月20日(日) 15:00~16:00	出品作家 流 麻二果		—		—	—		
Re construction 再構築	9月18日(金)~ 10月31日(土) まで公開	青山 悟 富井 大裕 大小島 真木 流 麻二果 (出品作家) 眞子みほ (当館学芸員)	出品作家が作品のテーマ・意図・鑑賞ポイント等を紹介した動画を配信	—	—	—	—	1,393 (再生 回数)	
電線絵画展	学芸員によるスライド トーク	加藤 陽介 (当館学芸員)	担当学芸員がスライドを使って展覧会の見どころを解説	—	当日の 観覧券が 必要	20	28	20	
	学芸員によるスライド トーク			友の会会員		20	18	15	
	学芸員によるスライド トーク			—		20	18	16	
	学芸員によるスライド トーク			—		20	18	12	
	学芸員によるスライド トーク			—		20	13	9	
							95	72	
					計5回 参加者延72名 ※中止6回 動画再生回数4,204回				

③ 講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
ショパン — 200年の肖像 連続講演会 ※中止	5月16日(土) 14:30～15:30	関口 時正 (東京外国語大 学名誉教授)	「パリのポーランド人た ち— ショパンからクリ スティングまで」①	中学生以上	無料 ※観覧 券必要 (当日 以外の 半券で も可)	70	—	—	
	5月16日(土) 15:45～16:45	白木 太一 (大正大学教 授)	「ショパンを育んだ都市 ワルシャワの歴史」前編			70	—	—	
	5月23日(土) 14:30～15:30	白木 太一 (大正大学教 授)	「ショパンを育んだ都市 ワルシャワの歴史」後編			70	—	—	
	5月23日(土) 15:45～16:45	関口 時正 (東京外国語大 学名誉教授)	「パリのポーランド人た ち— ショパンからクリ スティングまで」②			70	—	—	
	連続講演会02 ～ショパンを多視点 から考える～ ※中止	6月13日(土) 15:15～16:15	武田 幸子 (ショパン研究)			「ショパンの手稿譜と楽 譜出版」	70	—	—
		6月13日(土) 16:30～17:30	多田 純一 (ショパン研究)			「日本におけるショパン 受容と『ショパン弾き』澤 田柳吉の音楽活動」	70	—	—
	連続講演会03 ～ショパンコンクール を学ぶ～ ※中止	6月20日(土) 14:30～16:30	下田 幸二 (音楽評論家・ピ アニスト)			「《独立ポーランドとショ パン》～ポーランド楽派 とショパン国際コンク ールの黎明期～」	70	—	—
								0	0
計0回 参加者延0名 ※中止7回									

④ コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ショパン — 200年の肖像 スペシャル・コン サート ※中止	コンサート01 ～「ショパンを讃え て」～ ※中止	4月26日(日) 18:20～20:00	川口成彦 (ピアノ)	—	中学生以上	3,000 円 (観覧 券付)	50	—
	コンサート02 ～「ピアノの詩人ショ パン～その39年の生 涯」～ ※中止	5月17日(日) 18:20～20:00	高橋多佳子 (ピアノ)	—		4,000 円 (観覧 券付)	50	—
							0	0
計0回 参加者延0名 ※中止2回								

⑤ 鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
シヨパン —200年の肖像	トコトコ美術館 vol.31「おながく」【A】 ※中止	5月30日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	—	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1 名)	無料 ※保護 者は当 日の観 覧券が 必要	各回 5組	—	—
	トコトコ美術館 vol.31「おながく」【B】 ※中止	5月30日(土) 14:00～15:30						—	—
	トコトコ美術館 vol.31「おながく」【C】 ※中止	5月31日(日) 10:30～12:00						—	—
	トコトコ美術館 vol.31「おながく」【D】 ※中止	5月31日(日) 14:00～15:30						—	—
	トコトコ美術館 vol.31「おながく」【E】 ※中止	6月 7日(日) 10:30～12:30						—	—
	トコトコ美術館 vol.31「おながく」【F】 ※中止	6月 7日(日) 14:00～16:00						—	—
Re construction 再構築	トコトコ美術館 vol.32「からだ」【A】	9月 5日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	展示作品の様々な「からだ」を探しながら展覧会を鑑賞後、絵本『わたしとあそんで』を読み聞かせ。その後、大きな紙に子どもたちの身体をかたどりして「自分のすきなもの」「うれしい気持ち」を描き込んだ。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1 名)	無料 ※保護 者は当 日の観 覧券が 必要	各回 5組	12組 24名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.32「からだ」【B】	9月 5日(土) 14:00～15:30						5組 11名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.32「からだ」【C】	9月 6日(日) 10:30～12:00						9組 20名	4組 9名
	トコトコ美術館 vol.32「からだ」【D】	9月 6日(日) 14:00～15:30						5組 11名	5組 11名
	あかちゃんと家族の 鑑賞会【A】	9月13日(日) 10:30～12:00		あかちゃんと家族で展覧会を鑑賞後、展示室でのあかちゃんの反応を紹介しあった。その後、様々な画材を使って家族で身体を描いた。	0～2歳の 乳幼児と その家族	無料	各回 10名	12組 37名	3組 10名
	あかちゃんと家族の 鑑賞会【B】	9月13日(日) 14:00～15:30						11組 29名	4組 10名
35年の35点	あかちゃんと家族の 鑑賞会【A】	12月13日(日) 10:30～11:30	真子 みほ (当館学芸員)	あかちゃんと家族で展覧会を鑑賞後、展示室でのあかちゃんの反応を紹介しあった。その後、好きなシールを35枚使って絵を描いた。	0～2歳の 乳幼児と その家族	無料	各回 10名	13組 38名	2組 6名
	あかちゃんと家族の 鑑賞会【B】	12月13日(日) 14:00～15:00						6組 13名	4組 10名
	トコトコ美術館 vol.33「まる」【A】	12月19日(土) 10:30～12:00		展示室で「まる」が描かれている作品を見つけた後、絵本『まるをさがして』の読み聞かせ。その後、様々なカタチの円形折り紙を使い絵を作った。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1 名)	無料	各回 5組	8組 16名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.33「まる」【B】	12月19日(土) 14:00～15:30						6組 12名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.33「まる」【C】	12月20日(日) 10:30～12:00						15組 30名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.33「まる」【D】	12月20日(日) 14:00～15:30						6組 12名	5組 10名
電線絵画展	トコトコ美術館 vol.34「せん」【A】	3月13日(土) 10:30～12:00	真子 みほ (当館学芸員)	展覧会鑑賞後、元永定正の「せん」を読み聞かせ。その後、人数分をつなげた画用紙に1人1本自由な線を引き、その線をもとに様々な画材で発展させた線の絵画を完成させた。	3～6歳の 未就学児 +保護者 (子ども 1～2名 +保護者1 名)	無料 ※保護 者は当 日の観 覧券が 必要	各回 5組	8組 19名	5組 12名
	トコトコ美術館 vol.34「せん」【B】	3月13日(土) 14:00～15:30						5組 10名	5組 10名
	トコトコ美術館 vol.34「せん」【C】	3月14日(日) 10:30～12:00						8組 17名	5組 11名
	トコトコ美術館 vol.34「せん」【D】	3月14日(日) 14:00～15:30						7組 14名	5組 10名
							313名	159	
計16回 参加者延159名 ※中止6回									

Ⅱ) ネリピラポ(自分の好きな材料で好きなものを造る実験室)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
ネリピラポ 「好きな材料で自由に造る/描く! 実験室(ラボ)」	1月24日(日) 10:30~16:00	中澤 季絵 (イラストレーター)	時間内のどこから参加しても何を作ってもよい実験室。創作室にある材料・道具を自由に使い、各自好きなものを造って過ごした。	小中学生	1,500円(材料費+保険料)	15名	100	15	
	2月7日(日) 10:30~16:00	川上 亜衣 (作家) 西村 有未 (画家)						10	
	3月7日(日) 10:30~16:00	眞子 みほ (当館学芸員)						8	
								100	33
								計3回 参加者延33名	

Ⅲ) 施設等紹介事業(施設や所蔵作品から美術館を知るプログラム)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
美術館をつかまえる!?館内探検とプロクターージュ【A】	8月22日(土) 10:30~12:00	眞子 みほ (当館学芸員)	美術館の搬入口、収蔵庫前などの様々な場所のぼこぼこざらざらに紙を当てて、色鉛筆で模様をこすり出した。その後創作室で紙を糸糸で綴じ、美術館の採集本を作って持ち帰った。	5歳~ 小学2年生	100円(材料費)	各回 5名	19	4	
美術館をつかまえる!?館内探検とプロクターージュ【B】	8月22日(土) 14:00~15:30							5	
美術館をつかまえる!?館内探検とプロクターージュ【C】	8月23日(日) 10:30~12:00							4	
美術館をつかまえる!?館内探検とプロクターージュ【D】	8月23日(日) 14:00~15:30							4	
所蔵品カードで遊ぼう【A】 「まねして、組み合わせ、自由な模写」	1月17日(日) 10:30~12:30	眞子 みほ (当館学芸員)	当館の所蔵品カード80枚の中から、2点以上の作品を選び組み合わせ、1枚の自由な模写作品を制作した。	小学生~ 大人	100円(材料費)	各回 10名	34	8	
所蔵品カードで遊ぼう【B】 「まねして、組み合わせ、自由な模写」	1月17日(日) 14:00~16:00							10	10
								96	35
								計6回 参加者延35名	

事業計32回 参加者延318名 ※中止21回
動画再生回数 6,292回

学校関連事業

Ⅰ) スクールプログラム

美術館の施設および展覧会を学校教育の学習に活用してもらうため、以下のプログラムを用意し、実施した。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数は減少した。

① 団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
式場隆三郎展	11月27日(金) 10:00~11:00	バックヤード見学と展覧会鑑賞後、簡単な工作を行った。	まちの保育園	14	4
				14	4
				計1回 延18名	

② 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
実施なし	—	—	—	—	—
				0	0
				計0回 延0名	

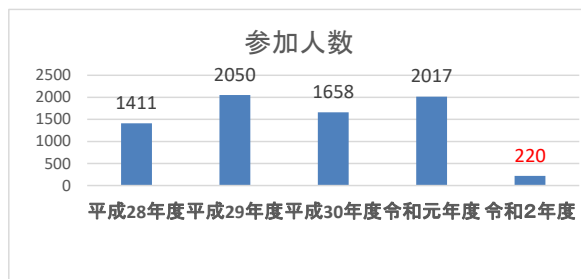
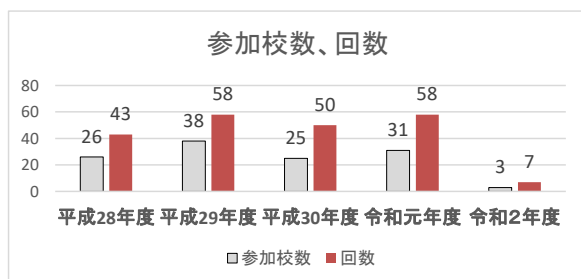
③ 職場体験・訪問 受付や監視、事務、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える。

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	
実施なし	—	—	—	—	
				0	
				計0回 延0名	

④ 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	7月13日(月) 8:50～9:35	再構築展の説明、作家の紹介後、プレ展示で実施した出品作家流麻二果氏による「日本の色」アンケートを各クラスごとに行った。	練馬区立練馬第三小学校・6年1組	35	2
	7月13日(月) 9:40～10:25		練馬区立練馬第三小学校・5年2組	31	2
	7月13日(月) 10:45～11:30		練馬区立練馬第三小学校・6年2組	40	2
	7月13日(月) 11:35～12:20		練馬区立練馬第三小学校・5年1組・かしまわ学級	36	2
	9月25日(金) 10:45～12:20	所蔵作品カードから2点以上選び、それらを自由に組み合わせた模写作品を描いた。	練馬区立春日小学校6年1組	25	1
	9月25日(金) 13:40～15:15		練馬区立春日小学校6年2組	25	1
				192	10
				計6回 延202名	

スクールプログラム 計1園2校7回 参加児童・生徒・学生 延220名



II) ティーチャーズデイ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

展覧会名	日程	参加人数
実施なし	—	—
		0
		計0回 延0名

III) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)の貸し出しを行う。
※これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。

貸し出し なし

その他

I) 団体鑑賞(一般)

受入日	学校・団体名	参加者
実施なし	—	—
		0
		計0回 延0名

II) インターン等受入

インターンおよび教員研修等の受入れ

事業名	受入日	学校・団体名	参加者
東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修	9月13日(日)	練馬区立春日小学校図工教員	1
	10月17日(土)	練馬区立春日小学校図工教員	1
			2
			計2回 延2名

② 令和2年度 博物館実習受入実績

実習実施期間

令和2年10月2日(金)～10月8日(木) 全5日間

※10月4日、5日を除く

No	大学名	学部等	人数
1	日本大学	芸術学部 美術学科	1名
2	東京都立大学	都市教養学部 都市教養学科 人文・社会系 国際文化コース	1名
3	聖心女子大学	文学部 日本語日本文学科	1名
4	十文字学園女子大学	人間生活学部 文芸文化学科	1名
5	東京女子大学	現代教養学部 人文学科 史学専攻	1名
6	多摩美術大学	美術学部 グラフィックデザイン学科	1名
7	中央大学	文学部 科目等履修生 学芸員課程	1名
8	武蔵大学	人文学部 日本・東アジア文化学科	1名
9	女子美術大学	芸術学部 アート・デザイン表現学科	1名
10	東京造形大学	造形学部 デザイン学科 グラフィックデザイン専攻	1名
11	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
合 計			11名

(前年度8名)

③令和2年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらうボランティア活動である。

令和2年度は総勢28名のサポーターが各展覧会の事業補助や新聞切り抜き作業などに従事している。

サポーター活動の実績		令和2年4月～令和3年3月	
展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
練馬区民美術展	会場整理等イベント補助	3日	13名
練馬区ゆかりの作家調べ		4日	38名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		7日	35名
新聞切り抜き資料作成		14日	118名
合 計		28日	204名

(令和元年度 73日 延628名)

(3)美術作品の収集事業

①令和2年度 美術作品の収蔵状況

(令和3年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
S59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
H1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1					1				6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3	0	191	191
23		8		13								1		123	0	145	145
24		32		10		33									0	75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22											0	47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15	0	56	56
R1		1		2				16				3		28	0	50	50
2		1		12		1						17		6	0	37	37
合計	31	301	190	1453	75	911	1	48	0	1	1	64	1	2610	299	5388	5687

令和3年3月31日現在
寄託作品 1,900点

購入・寄贈・寄託計 7,587点

②令和2年度練馬区立美術館寄贈・寄託等リスト

■(1)購入作品 なし

■(2)寄贈作品 31点

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	流麻二果	さつき静まる浜村/Deserted Seaside Village in May 2020	2020年	油彩・キャンバス	112.0×189.8
2	流麻二果	色の跡:松岡静野「舞妓」/Traces of Colors: Shizuno Matsuoka "Maiko"	2020年	油彩・キャンバス	52.0×41.0
3	大小島真木	ゴレム Golem	2020年	陶器、刺繍、綿布、木、珪化木、猪の骨、ガラス、縄文土器、貝、火山石、造花、糸、アクリル絵の具、マーカー	可変
4	大小島真木	胎樹 Fetus tree	2020年	アクリル、ラッカースプレー、マーカー・綿布	368.0×546.8
5	大小島真木	エンタングルメント・ハート 階層のリアリティ	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
6	大小島真木	エンタングルメント・ハート 地の果てに至るまで	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
7	大小島真木	エンタングルメント・ハート ルーシー	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
8	大小島真木	エンタングルメント・ハート ハウリング	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
9	大小島真木	エンタングルメント・ハート つくも神	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
10	大小島真木	エンタングルメント・ハート 多自然のポリフォニー	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
11	大小島真木	エンタングルメント・ハート ベイビーツリー	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
12	大小島真木	エンタングルメント・ハート フムクラシー	2020年	アクリル、鉛筆、油性色鉛筆・アルシュ紙	38.0×28.0
13	岡本一平ほか	東海道五十三次漫画絵巻	1921年	紙本淡彩	卷子本2本1組 各 29.5×760
14	品川工	飛沫	不詳	木版、実物版・紙	62.0×46.5
15	青山悟	Social Distancing Cap	2020年	キャップ、布に刺繍	可変
16	青山悟	Social Distancing Measure (再制作)	2020年	メジャー、布に刺繍	可変
17	青山悟	Rubber Gloves (再制作)	2020年	ゴム手袋に刺繍	可変
18	青山悟	WHO SAID SO Mask (再制作)	2020年	マスクに刺繍	可変
19	青山悟	Light the Future Patch (再制作)	2020年	布に刺繍	36.0×5.0
20	青山悟	旗と聖火	2020年	紙に刺繍	可変(元の紙サイズ27.5×23.0)
21	青山悟	Blue Umbrella and Surveillance Camera	2020年	紙に刺繍	可変(元の紙サイズ27.5×23.0)
22	青山悟	Rose Patch	2020年	紙に刺繍	13.5×5.8
23	青山悟	Black Lives Matter Patch	2020年	紙に刺繍	9.8×7.7
24	青山悟	Blue Impulse	2020年	紙に刺繍	可変(元の紙サイズ27.5×23.0)
25	青山悟	F35	2020年	紙に刺繍	可変(元の紙サイズ27.5×23.0)
26	青山悟	Hope	2020年	紙に刺繍	可変(元の紙サイズ27.5×23.0)
27	青山悟	息ができない	2020年	マスクに刺繍	可変
28	富井大裕	寝技と立技 #2	2019年	箒、ボルト、ナット	127.0×36.0×141.0
29	富井大裕	v	2020年	竹、クランプ、ボルト、ナット	178.0×18.5×20.0
30	富井大裕	waste basket and waste paper (wood/round)	2020年	ゴミ箱、紙、指示書	34.0×22.0×22.0
31	富井大裕	展示プラン	2020年	塗装されたパネルに鉛筆、クレヨン、アクリル	220.0×250.0×5.6

■(3) 寄贈資料 6点

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	朝井閑右衛門	ハガキ3点、手紙1点	1950年	紙	ハガキ14.0×9.0、手紙25.5×18.0 (封筒20.2×8.3)
2	(大沢三之助関連資料)	太刀	1915年	刀身、拵	2尺3寸
3	(大沢三之助関連資料)	刀掛け	1915年	梨地蒔絵	40.0×16.7×26
4	(大沢三之助関連資料)	勲章 勲5等 雙光旭日章	大正年間	真鍮、七宝	4.5×4.5 (9.5)
5	(大沢三之助関連資料)	立太子記念盃	大正年間	銀	Φ9.7×3.8
6	(大沢三之助関連資料)	ボンボンニエール	大正年間	銀	Φ6.0×2.0

■(4) 寄託作品 なし

■(5) 寄託資料 なし

■(6) その他 なし

③令和2年度 収蔵品貸出一覧

8施設の展覧会に、計17作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	京都市京セラ美術館 ※緊急事態宣言に伴う 会期変更により展示せ ず	京都市京セラ美術館開館 記念展「京都の美術250年 の夢」	3月14日～ 6月28日 (貸出期間)	谷口香嶺 《屈原図》
2	苫小牧市美術博物館	生誕100年/ロボットと芸術 ～越境するヒューマノイド	7月18日～ 9月13日	中村宏《似而非機械》
3	横須賀美術館	上田薫展	9月12日～ 11月3日	上田薫《液体B》
4	埼玉県近代美術館	上田薫展	11月14日～ 1月11日	上田薫《液体B》
5	大川美術館	鬨光と同時代の仲間たち	10月10日～ 12月13日	鬨光 《葡萄》、《花と蝶》、《ばら》、《花(グラ ジオラス)》
6	三重県立美術館	ショック・オブ・ダリ－ サル バドール・ダリと日本の前衛	1月9日～ 3月28日	齋藤長三《窓から》、《三時の休憩》
7	横須賀美術館	ヒコーキと美術	2月6日～ 4月11日	中村宏《飛行機不時着す》、《プロペラ》、 《B727》、《車窓篇 TYPE2(コックピット)》、 《早来迎機(4)》
8	板橋区立美術館	さまよえる絵筆—東京・京 都 戦時下の前衛画家た ち	3月27日～ 4月25日	鬨光《花と蝶》、寺田政明《静物》

④令和2年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当館ホームページでは企画展の見どころや教育普及事業の情報などを随時公開しており、多くの方に利用いただいている。

また収蔵品についても平成17年にデジタルデータ化し、学校教育や生涯学習等、利用機会の拡充を行った。平成24年にはデータベースを新システムに更新し、常時インターネットより7,000点に及ぶ当館収蔵品を検索・閲覧可能とした。

令和2年度の収蔵品データベースへのアクセス件数

	データベース (件)
4 月	371 件
5 月	588 件
6 月	553 件
7 月	513 件
8 月	784 件
9 月	462 件
10 月	561 件
11 月	911 件
12 月	585 件
1 月	512 件
2 月	626 件
3 月	672 件
合 計	7,138 件
平 均	595 件/月
(令和元年度	7,080 件)

(4) 施設利用状況

令和2年度 施設利用状況

① 展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	23	116	8,286	168	69.0
企画展示室	3	19	1,807	23	82.6
合計	26	135	10,093	191	70.7
(令和元年度)	44	233	21,899	295	79.0

② 創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
12	188	16	2,726	352	53.4
(令和元年度)	267	22	4,650	395	67.6

③ 施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	39	3.3	最高 2.33倍
	当選	28	2.3	平均 1.32倍
企画展示室	申込	3	—	12月の一部貸出 倍率 1.0倍
	当選	3	—	

※展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) 広報活動と反響

「ショパン -200年の肖像」

(令和2年6月2日～令和2年6月28日)

<p><新聞></p> <p>【記事】</p> <p>ちいき新聞 2月28日</p> <p>陸奥新報 4月</p> <p>東洋経済日報 6月5日</p> <p>読売新聞夕刊 6月20日</p>	<p>【一覧】</p> <p>東京新聞 6月18日</p>
<p><雑誌></p> <p>BM vol. 52 4月20日</p> <p>男の隠れ家 3月27日</p> <p>ムジカノーヴァ 4月号 3月19日</p> <p>アートコレクターズ 4月号 (3月25日) または5月号 (4月25日)</p> <p>アンアン 4月8日</p> <p>びいーゆ 5月1日</p> <p>季刊誌エール 4月1日</p> <p>懸賞なび 4月22日</p> <p>InRed 5月14日</p> <p>弦楽器専門誌「サラサーテ」 7月2日</p>	
<p><地域情報誌、会員誌、フリーペーパー等></p> <p>ばる新宿ニュース 4月1日</p> <p>Quintessentially News Letter 3月10日</p> <p>地域情報誌かるがも便り 4月1日</p> <p>月刊 kacce 4月1日</p> <p>情報誌ぱど 5月8日</p> <p>月刊 EzPress 5月号 4月24日</p> <p>リビング新聞 4月24日</p> <p>Confetti (カンフェティ) 5月4日</p> <p>定年時代 5月18日</p>	
<p><WEB></p> <p>レッツエンジョイ東京</p> <p>ファッションプレス</p> <p>美術館情報 OBIKAKE</p> <p>G-CALL</p> <p>アートアジェンダ</p> <p>クラブオフ</p> <p>個展なび</p> <p>ShareArt</p> <p>JR 東海ツアーズ 東京ガイドマップ</p>	

<p>東京都観光公式サイト「GO TOYKO」 ヤマハ web 音遊人 読売新聞「美術展ナビ」 ONTOMO</p>
<p><その他> ねりま区報 6月4日 貫井図書館だより 貫井図書館パスファインダー</p>

「Re construction 再構築」

(令和2年7月8日～令和2年9月27日)

<p><新聞></p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>【記事】 日経新聞 9月15日朝刊 朝日新聞 9月15日夕刊 毎日新聞 9月16日夕刊</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>【一覧】 東京新聞 7月16日 8月6日 東武よみうり 8月3日 日経新聞 8月6日 9月3日 朝日新聞 8月11日 9月15日</p> </td> </tr> </table>		<p>【記事】 日経新聞 9月15日朝刊 朝日新聞 9月15日夕刊 毎日新聞 9月16日夕刊</p>	<p>【一覧】 東京新聞 7月16日 8月6日 東武よみうり 8月3日 日経新聞 8月6日 9月3日 朝日新聞 8月11日 9月15日</p>
<p>【記事】 日経新聞 9月15日朝刊 朝日新聞 9月15日夕刊 毎日新聞 9月16日夕刊</p>	<p>【一覧】 東京新聞 7月16日 8月6日 東武よみうり 8月3日 日経新聞 8月6日 9月3日 朝日新聞 8月11日 9月15日</p>		
<p><雑誌> アートコレクターズ 8月号 月間「美術の窓」 新美術新聞 芸術新潮</p>	<p><地域情報誌、会員誌、フリーペーパー等> 月刊 Kacce Confetti (カンフェティ) アート情報誌『arch』151号 地域創造レター9月号</p>		
<p><WEB> アートアジェンダ OBIKAKE ウェブ版美術手帖 Share Art クラブオフ G-Call インターネットミュージアム 個展なび ナンスカ ウェブ版美術手帖 (レビュー記事)</p>			
<p><その他> 練馬区モニター広告 区公式フェイスブック・区公式ツイッター ねりま区報7月1日・8月1日 ねりまホットライン9月前半号 練馬区ホームページ 貫井図書館だより NERICUL 2020 SUMMER Vol.18</p>			

「式場隆三郎 脳室反射鏡」

(令和2年10月11日～令和2年12月6日)

<p><新聞></p> <p>【記事】</p> <p>読売新聞 10月11日朝刊</p> <p>産経新聞 11月9日web版</p> <p>朝日新聞 11月10日夕刊</p> <p>読売新聞 11月17日、18日、19日(朝刊連載)</p> <p>毎日新聞 11月18日夕刊</p> <p>読売新聞 11月28日夕刊</p> <p>【一覧】</p> <p>毎日新聞 10月2日～12月4日の毎週金曜日</p> <p>朝日新聞 10月6日</p> <p>東京新聞 10月8日</p> <p>読売新聞 10月7日</p> <p>産経新聞 10月10日</p> <p>東洋経済日報 10月16日</p>	
<p><雑誌></p> <p>月間「美術の窓」 11月号</p> <p>東京かわら版</p> <p>ほぼづゑ 107号</p>	<p><地域情報誌、会員誌、フリーペーパー等></p> <p>民藝 11月号</p> <p>月刊 Kacce</p> <p>Confetti (カンフェティ)</p>
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>OBIKAKE</p> <p>M&C</p> <p>Share Art</p> <p>青い日記帳</p> <p>G-Call</p> <p>ぴあポイントサイト</p> <p>ウェブ版美術手帖</p>	
<p><その他></p> <p>区公式フェイスブック・区公式ツイッター</p> <p>ねりま区報 11月1日</p> <p>ねりまホットライン 10月1日～23日</p> <p>練馬区ホームページ</p> <p>貫井図書館だより</p> <p>貫井図書館 美術パスファインダー26</p> <p>NERICUL 2020 Autumn Vol.19</p> <p>J-COM 東京</p>	

「35年の35点」

(令和2年12月12日～令和3年2月14日)

<p><新聞></p> <p>【一覧】</p> <p>東京新聞 12月10日、1月28日、2月4日</p> <p>毎日新聞 12月11日、18日、25日、1月8日、15日、22日、29日 2月5日、11日</p> <p>日経新聞 1月7日、2月4日</p>
<p><雑誌></p> <p>美術の窓 1月号</p> <p>月刊美術 1月号</p> <p>美じょん新報 255号</p>
<p><WEB></p> <p>アートアジェンダ</p> <p>美術展ナビ</p> <p>KATYCOM</p> <p>artscape</p> <p>インターネットミュージアム</p> <p>Tokyo Art Beat</p> <p>Art Talk</p>
<p><その他></p> <p>ねりま区報 12月1日号</p> <p>区公式ツイッター</p> <p>貫井図書館だより 11月号</p> <p>NERICUL 2020 Autumn Vol.19</p> <p>NERICUL 2020 Winter Vol.20</p> <p>ねりまホットライン (テロップ放送)</p> <p>J:COM つながる NEWS (番組)</p>

「電線絵画展」

(令和3年2月28日～令和3年4月18日)

<新聞>

【記事】

- 東武よみうり新聞 2月1日
- 東奥日報 2月18日
- 産経新聞 2月18日
- 下野新聞 2月18日
- 熊本日日新聞 2月21日
- 秋田さきがけ新聞 2月25日
- 東京新聞 2月25日 情報道しるべ ほっとなび
- 毎日新聞 2月26日朝刊 遊ナビ
- 読売新聞 2月28日 美術展ナビ
- 日経新聞 3月4日朝刊 新聞紙面広告
- 読売新聞 3月12日朝刊 TOKYO ウイークエンド
- 読売新聞 3月19日朝刊 美術展ナビ
- 読売新聞 3月24日朝刊 イマ推しっ
- 朝日新聞 3月30日夕刊 art 彩る
- 公明新聞 3月31日
- 桐生タイムス 4月1日夕刊
- 朝日新聞 4月3日朝刊 「みる」
- 北海道新聞 4月5日
- 毎日新聞 4月12日夕刊 「アートの手」
- 東京新聞 4月9日夕刊 「文化：美術評」

【一覧】

- 朝日新聞 2月12日夕刊 マリオン欄
- 朝日新聞 2月16日夕刊 美術館・博物館表
- 毎日新聞 2月19日、26日、3月12日、19日、26日朝刊 美術館ガイド
- 日経新聞 3月4日 マンスリーミュージアム
- 東京新聞 3月25日朝刊 ほっとなび
- 日経新聞 4月1日 マンスリーミュージアム

<雑誌>

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 美術屋・百兵衛No春号 月刊ギャラリー 2月5日 月刊美術の窓 2月20日 「月刊美術」 2月20日 東京かわら版 2月28日 生活の友社(月刊アートコレクターズ)2月25日 季刊「住む」 2021 春号 季刊「うかたま」 2021 春号 歴史街道 3月6日 | <ul style="list-style-type: none"> 月刊絵手紙 3月号 サンデー毎日エコノミスト3月号 いけばな龍生3月号 台電月刊(台湾電力)3月号 サンデー毎日4月号 週刊文春4月号 雑誌「スバル」4月6日 「新建築住宅特集」4月号 「美術の窓」4月号 |
|---|--|

<p><地域情報誌、会員誌、フリーペーパー等></p> <p>月刊 Kacce 2月1日</p> <p>新美術新聞 2月15日</p> <p>地域情報紙(かるがも通信)№75</p> <p>桐生タイムス 2月27日</p> <p>Confetti 2021APRIL</p> <p>東京都電気工事工業組合月刊「電気工事業」</p>	
<p><WEB></p> <p>青い日記帳</p> <p>HP「ART ACCESS」</p> <p>スタジオミーム TokyoLive&Exhibits</p> <p>個展なび</p> <p>協同組合員インフォメーションテクノロジー</p> <p>インターネットミュージアム</p> <p>CasaBRUTUS WEB版</p> <p>WEBメディア「ナンスカ」</p> <p>CREA WEB</p> <p>ぴあポイントサイト</p> <p>大人のカルチャーガイド</p>	<p>栴意と匠研究所</p> <p>さんたつ by 散歩の達人</p> <p>Pen</p> <p>ロードサイダーズ・ウイークリー</p> <p>日本美術倶楽部</p> <p>産経新聞ネット配信</p> <p>OBIKAKE</p> <p>ART Talk</p> <p>artscape</p> <p>「すばる」ネット</p>
<p><その他></p> <p>ねりま区報 2月11日号</p> <p>ねりまホットライン</p> <p>TV「TOKYOMXTV (WoW! HO! TV)」</p> <p>図書館便り 3月号</p> <p>NERICUL 2021 Spring</p> <p>J.Wave Good Neighbors 3月24日ラジオ放送</p> <p>NHK 日曜美術館 アートシーン 4月4日放映</p> <p>日本放送 上柳昌彦「あさぼらけ」あけの語り人 4月7日放送</p> <p>Musee de ももクロ 4月8日、15日 ネット配信</p>	

2 令和3年度事業計画

(1) 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
6月1日 6月20日 ※ <18日間>	【有料】 8つの意表 ～ 絵画を描く、絵に描く、画家たちのキセキ ～ ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館により4月30日開幕を延期				毛利
7月2日 7月11日 <9日間>	【無料】 第67回練馬区美術家協会展				
7月25日 9月12日 <43日間>	【有料】 没後20年 まるごと馬場のぼる 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!				眞子
9月23日 11月14日 <46日間>	【有料】 ピーター・シスの闇と夢				小野
11月23日 12月12日 <18日間>	(一般貸出)				
12月18日 12月26日 <8日間>	【無料】 第53回練馬区民美術展		11月23日	【無料】 収蔵作品による小林清親 【増補】ー サプリメント ー	加藤
1月4日 1月13日 <9日間>	(一般貸出)		1月30日		
1月15日 1月19日 <4日間>	中学校生徒作品展		<55日間>		
1月22日 1月27日 <5日間>	小学校連合同工展				
1月29日 1月30日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展				
2月6日 3月27日 <43日間>	【有料】 生誕110年 香月泰男				喜多

「8つの意表 ～絵を描く、絵に描く、画家たちのキセキ～」展 開催要項

- 1 開催趣旨 「意表をつく」という言葉は、「相手の予期しないことをする」という意味で用いられますが、「意表」はまた「ところをあらわす」という意味で使われることもあります。本展ではこれをキーワードに、当館のコレクションから、練馬にゆかりの深いアーティストを含む下記8名を選びました。近現代美術にユニークな「軌跡」を残した彼らそれぞれの二重の意味での「意表」を、複数の個展形式で展示。明治末年から令和にいたる、激動する日本を生きてきたアーティストたちが、どのようにして自己と社会を見つめ「意表」を行い、時代の中で「奇跡」を成してきたかを約100点の絵画・版画作品で紹介します。（作家略歴は生年順）
- ・大沢昌助（1903～97）は東京の生まれ。1943年に二科会会員となる。戦後は、日本国際美術展、現代日本美術展、国際形象展などで活躍。
 - ・古沢岩美（1912～2000）は佐賀県の生まれ。上京後、豊島区にあった「池袋モンパルナス」で画家たちと交流。シュルレアリスムに学んだ作品で注目を集める。
 - ・野見山暁治（1920～）は福岡県の生まれ。1952年渡仏。1958年に安井賞、2014年に文化勲章を受賞。練馬区にアトリエを構え、現在も旺盛に制作を続ける。
 - ・小野木学（1924～76）は東京の生まれ。1959年シュル美術賞展で第二席。「風景」をテーマに、モノクロームを基調とした絵画を探求。長く練馬区に在住。
 - ・草間彌生（1929～）は長野県の生まれ。1957年に渡米、《無限の網》やソフト・スカルプチュア等で注目を浴びる。小説・詩作でも才能を発揮。
 - ・中村宏（1932～）は静岡県の生まれ。日本アンデパンダン展、現代日本美術展等に出品。社会問題や心象風景をモチーフに国内外で活躍。練馬区在住。
 - ・近藤竜男（1933～2019）は東京の生まれ。1961年から2001年までニューヨークに在住、独自のモノクローム的抽象絵画を探求。以後練馬区に在住。
 - ・鏑木昌弥（1938～）は東京の生まれ。30代の頃に練馬区に在住。1970年の初個展で鉛筆画による作品を発表し、その後幻想的な作風を展開。
- 2 会 期 令和3年4月30日(金)～6月20日(日)
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館により、6月1日に開幕を延期
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 油彩画、版画など 112点
- 5 図 録 なし
- 6 観 覧 料 500円
- 7 イベント 新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを中止
- 8 観覧者数 1,551人(86.2人/日)
- 9 担 当 副館長 毛利義嗣

「没後 20 年 まるごと馬場のぼる」展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ！ 開催要項

- 1 開催趣旨

馬場のぼる（1927～2001）は、絵本『11 ぴきのねこ』シリーズで知られる漫画家です。青森県三戸町に生まれた馬場は、1949 年に漫画家を目指して上京します。1950 年から「ポストくん」の連載が始まり、手塚治虫、福井英一らとともに児童漫画の三羽鳥と呼ばれる人気者となりました。時代の主流が児童漫画から活劇モノに代わっていくと、新聞の 4 コマ漫画など大人向けの漫画も描きながら、徐々に絵本に活動の場を移します。『11 ぴきのねこ』はロングセラーとなり、シリーズは 6 冊出版され、絵本のみならずキャラクターグッズや人形劇など様々な媒体で人気を誇っています。

馬場は 1952 年から亡くなるまで約 50 年間練馬区に居住した、地域ゆかりの作家でもあります。本展は絵本や漫画の仕事を紹介するとともに、自宅に保管されていた 50 年分のスケッチブックや、自身が楽しんで制作した絵画・立体作品、他作家との交流などから、人としての馬場のぼるに焦点を当て、馬場の視点や思考がどのように作品に昇華されたのか、その道筋を辿ります。
- 2 会 期 令和 3 年 7 月 25 日(日)～9 月 12 日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 特別協力 こぐま社
- 5 協 力 青森県三戸町
- 6 企画協力 株式会社アドシステム
- 7 内 容 漫画原稿、挿絵原画、絵画、資料など 約 300 点
- 8 図 録 制作（こぐま社）
- 9 観 覧 料 1,000 円
- 10 イベント 馬場のぼる担当編集者の講演会、ワークショップなどを開催
- 11 観 覧 者 28,739 人(668.3 人／日)
- 12 担 当 学芸員 眞子みほ

※令和 4 年夏に八戸市美術館、秋に刈谷市美術館へ巡回予定（日程は未定）

「ピーター・シスの闇と夢」展 開催要項

- 1 開催趣旨

2012年に国際アンデルセン賞の画家賞を受賞した絵本作家、ピーター・シスを紹介します。1949年、旧チェコスロバキアのブルノに生まれたシスは、プラハ工芸美術大学とロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アートで学び、短編アニメーションの制作でその才能を広く認められます。1982年には政府よりロサンゼルス・オリンピック(1984年)の映像制作のため派遣されますが、祖国を含めた東側諸国がオリンピックのボイコットを表明したことにより、アメリカへの亡命を決意します。アメリカへ移住した後はニューヨークに拠点を定め、新聞、雑誌、絵本などのジャンルを中心に活躍しています。

ニューヨーク・タイムズ紙が選ぶ年間ベストテンや、パブリッシャーズ・ウィークリーのベストセラーリストの常連となったシスは、絵本『星の使者ガリレオ・ガリレイ』(1996年)においてアメリカの優れた絵本に与えられるコルデコット賞推薦を受け、次点となります。2007年には自伝に基づく絵本『かべ 鉄のカーテンのむこうに育って』を発表し、チェコ出身の絵本作家として世界的な評価を確立します。2014年には『星の王子さま』にも挿絵を手がけ、サン＝テグジュペリの名作に新たな解釈を提示しました。

本展では、アニメーション作品から絵本原画、スケッチなど様々な作品や資料など約150点により、シスの幅広い創作活動と、シスの作品の土壌となったチェコの文化の魅力をご紹介します。
- 2 会 期 令和3年9月23日(木・祝)～11月14日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館 (公益財団法人練馬区文化振興協会)
- 4 後 援 チェコ共和国大使館、チェコセンター東京
- 5 特別協力 エリック・カール絵本美術館
- 6 協力 プラハ現代美術センターDOX、ラビリント
- 7 企画協力 株式会社イデッフ
- 8 内 容 絵本原画、資料、アニメーション、スケッチなど 約150点
- 9 図 録 制作
- 10 観 覧 料 1,000円
- 11 イベント 講演会(動画)、鑑賞プログラムなどを開催
託児サービスを実施
- 12 観覧者見込 16,100人(350人/日)
- 13 担 当 学芸員 小野寛子

「収蔵作品による 小林清親 【増補】ーサプリメントー」展 開催要項

- 1 開催趣旨 小林清親（弘化 4～大正 4・1847～1915）は“最後の浮世絵師”とも呼ばれる、明治期を代表する浮世絵師です。明治 9 年（1876 年）にデビューをしますが、その登場は鮮烈でした。淡く明るい色調と光と影、天候や時間をも表現した、まるで水彩画のような東京名所シリーズは”光線画“と呼ばれ、人々の絶賛を浴びました。それ以降も、戦争画や歴史画、カリカチュア、戯画などを描き続け、浮世絵の終焉の美を飾ると共に、明治生まれの若い芸術家たちに大きな影響を与えました。

当館では 2015 年に清親没後 100 年を記念して「小林清親展 文明開化の光と影をみつめて」を開催しました。この展覧会が機縁となって、清親の作品や遺品を 300 件以上、寄託作品として受けることになりました。その中には、世に“小林清親写生帖”として知られ、清親の光線画の源泉となったスケッチブックや未公開の下図、自作の手箱や着用の袴などの身の回りの遺品が含まれています。この展覧会ではそうした未紹介・未公開の貴重な作品、資料を数多く含め、2015 年のサプリメント（補遺）として開催する小林清親展です。
- 2 会 期 令和 3 年 11 月 23 日（火・祝）～令和 4 年 1 月 30 日（日）
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 内 容 版画、肉筆画、遺品など 約 80 点
- 5 図 録 なし
- 6 観 覧 料 無料
- 7 イベント スライドトーク、ワークショップ、鑑賞プログラムなどを開催
- 8 観覧者見込 6,600 人(120 人／日)
- 9 担 当 学芸員 加藤陽介

「生誕110年 香月泰男」展 開催要項

- 1 開催趣旨

太平洋戦争とシベリア抑留の体験を描いた「シベリア・シリーズ」で、戦後洋画史に確固たる地位を築いた香月泰男（1911～74）。57点の油彩画からなるシベリア・シリーズは、応召から戦地での日々、シベリア抑留、そして復員まで、画家が体験した出来事の順番に沿って紹介されるのが一般的です。しかし実際には「物語」のはじまりともいえる、下関港から大陸へ出航する場面が、他の作品よりも後に描かれるなど、当初から一貫した連作として構想され、描かれたものではありませんでした。

本展覧会は、東京美術学校時代から最晩年まで、シベリア・シリーズを含む各年代の代表作を制作年順に展覧し、香月泰男の画業の全容を紹介します。一大叙事詩として読み取られることの多いシベリア・シリーズを「解体」し、同時期に制作された他の作品と併せてご覧いただくことで、画家の創作活動における同シリーズの位置づけを再検証し、香月の芸術の多彩な魅力に迫ります。
- 2 会 期 令和4年2月6日(日)～3月27日(日)
- 3 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 4 監 修 山口県立美術館、香月泰男美術館
- 5 企画協力 一般社団法人インディペンデント
- 6 内 容 油彩画、素描など 約120点
- 7 図 録 制作
- 8 観 覧 料 1,000円
- 9 イベント スライドトーク、ワークショップなどを開催
託児サービスを実施予定
- 10 観覧者見込 8,600人(200人／日)
- 11 担 当 学芸員 喜寿孝臣

※宮城県立美術館（令和3年7月3日～9月5日）、神奈川県立近代美術館 葉山（令和3年9月18日～11月14日）、新潟市美術館（令和3年11月27日～令和4年1月23日）、足利市立美術館（令和4年4月5日～5月29日）を巡回

(2)教育普及事業

①令和3年度 教育普及事業計画

令和3年10月1日現在

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

	事業名	開催日および開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	没後20年 まるごと馬場のぼる展関連 ワークショップ「みんなで11びき！四コマねこワールド」	8月6日(金) 10:30～12:30 14:00～16:00	2	小学生	各回 11名	22
2	没後20年 まるごと馬場のぼる展関連 ワークショップ「つながるつながるマラソン大会」	8月7日(土) 14:00～16:00	1	小学生以上	20名	18
3	収蔵作品による小林清親展関連 講座「浮世絵(多色木版)にチャレンジ！絵師・彫り師・摺り師になろう！」	1月22日(土) 10:30～17:00 1月23日(日) 10:30～17:00	1 (2日間)	中学生以上	10名	—
4	生誕110年 香月泰男展関連 ワークショップ	未定	未定	未定	未定	—

② ギャラリートーク・アーティストトーク・スライドトーク

	事業名	開催日および開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	ピーター・シスの闇と夢展関連 アートテラー・とに〜と担当学芸員によるギャラリートーク (動画)	第1回 10月6日(水)～ 第2回 10月9日(土)～	2	—	—	動画 配信
2	収蔵作品による小林清親展関連 担当学芸員によるスライドトーク	12月4日(土) 15:00～15:20 1月8日(土) 15:00～15:20	2	—	各回 20名	—
3	生誕110年 香月泰男展関連 担当学芸員によるスライドトーク	未定	未定	未定	未定	—

③ コンサート・ライブパフォーマンスなど

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	開催予定なし	—	—	—	—	—

④ 鑑賞プログラム

	事業名	開催日および開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	8つの意表展関連 トコトコ美術館 テーマ:かお ※中止	5月22日(土) 10:30～12:00 14:00～15:30 5月23日(日) 10:30～12:00 14:00～15:30	4	3～6歳の 未就学児 +保護者	各回 5組	—
2	没後20年 まるごと馬場のぼる展関連 トコトコ美術館 テーマ:ねこ	7月30日(金) 10:30～12:00 14:00～15:30 7月31日(土) 10:30～12:00 14:00～15:30 16:30～18:00	5	3～6歳の 未就学児 +保護者	各回 5組	52
3	没後20年 まるごと馬場のぼる展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	8月8日(日) 10:30～11:30 13:30～14:30 15:30～16:30	3	0～2歳の 乳幼児と その家族	各回 10名	26
4	ピーター・シスの闇と夢展関連 トコトコ美術館 テーマ:かぎ	10月16日(土) 10:30～12:00 14:00～15:30 10月17日(日) 10:30～12:00 14:00～15:30	4	3～6歳の 未就学児 +保護者	各回 5組	—
5	ピーター・シスの闇と夢展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	10月23日(土) 10:30～11:30 13:30～14:30	2	0～2歳の 乳幼児と その家族	各回 10名	—
6	ピーター・シスの闇と夢展関連 拡大美術館 テーマ:かぎ	10月24日(日) 10:30～12:30 14:00～16:00	2	小学生	各回 10名	—
7	収蔵作品による小林清親展関連 トコトコ美術館 テーマ:かげ	12月11日(土) 10:30～12:00 14:00～15:30 12月12日(日) 10:30～12:00 14:00～15:30	4	3～6歳の 未就学児 +保護者	各回 5組	—
8	収蔵作品による小林清親展関連 拡大美術館 テーマ:かげ	12月26日(日) 10:30～12:30 14:00～16:00	2	小学生	各回 10名	—

⑤ 講演会など

	事業名	開催日および開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	没後20年 まるごと馬場のぼる展関連講演会 「11びきのねこの世界を支えたもの」 講師:関谷裕子(こぐま社編集長)	8月1日(日) 15:00~16:30	1	中学生以上	30名	27
2	ピーター・シスの闇と夢展関連動画配信による講演会 講師:柴田元幸(アメリカ文学研究者/翻訳家)	11月上旬~	1	—	—	動画配信

Ⅱ) ネリビラボ(自分の好きな材料で好きなものを作る実験室)

	事業名	開催日および開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	ネリビラボ	未定	1	小中学生	15名	—

Ⅲ) 施設等紹介事業(施設や所蔵作品から美術館を知るプログラム)

	事業名	開催日および開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッターージュ	8月13日(金) 10:30~12:00 14:00~15:30 8月14日(土) 10:30~12:00 14:00~15:30	4	5歳~ 小学2年生	各回 5名	17
2	所蔵品カードであそぼう!	未定	1	小学生~ 大人	各回 10名	—
3	おでかけ美術館	未定	1	4~6年生	10名	—

学校関連事業

Ⅰ) スクールプログラム 内容を記載したパンフレットを作成し各学校に配布。

① 団体鑑賞	美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする
② 施設見学	各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する
③ 職場体験・訪問	受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える
④ 出張プログラム	担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

Ⅱ) ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。令和3年度は5回開催する。

	展覧会名
1	8つの意表
2	没後20年 まるごと馬場のぼる
3	ピーター・シスの闇と夢
4	収蔵作品による小林清親
5	生誕110年 香月泰男

(3) 新型コロナウイルス感染症対策

1 来館者の安全確保体制

- ① 来館前の検温実施を要請し、来館自粛を求める条件をホームページ等で周知する。
 - ア 37.5℃以上の発熱があった場合
 - イ 咳・咽頭痛などの症状がある場合
- ② 館内滞在時間を1時間から1時間30分程度とすることを依頼する。
- ③ 館内での検温、咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指消毒を要請する。
- ④ 上記①～③について館内入口に掲示する。
- ⑤ 貸出物(車いす、ワークショップ時の道具、アンケート用筆記具等)は消毒を行い貸し出す。
- ⑥ 観覧中に感染が疑われる体調不良者が発生した場合には、あらかじめ準備した他の来館者から隔離できるスペースでの休憩を促し、救急要請する。
- ⑦ 封筒に入れたマスクを用意し、着用していない来館者に受付・監視職員が声かけ、配付する。
- ⑧ ワークショップや講演会等の会場における身体的距離を確保する。

2 スタッフの安全確保体制

- ① スタッフは就業前に検温する。
- ② 発熱のあるスタッフには医療機関の受診を促し、診断結果を確認する。

下記の症状に該当する場合は自宅待機とする。

咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、目の痛みや角膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐
- ③ 咳エチケット、マスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底する。
- ④ 接客対応には、マスク着用・アクリル板での遮断、フェイスシールドの着用で飛沫感染を防ぐ。
- ⑤ 現金やチケットのやりとりにはトレーを使用する。

3 館内管理

- ① 館内
 - ア トイレ等の共有部分および不特定多数の人が触れる場所を頻繁に清掃
 - イ 入口等適切な場所に手指消毒液を設置
 - ウ 清掃スタッフのマスク、手袋着用の徹底、清掃後の手洗いの徹底
 - エ トイレに手洗いを促す掲示
 - オ ハンドドライヤーの使用中止
 - カ 過密を避けるため、エレベーターの利用は階段昇降が困難な方に限定

- ② ロビー
 - ア 対人距離を確保するため、フロアマーカ―を設置
(チケット購入の列・トイレの列・グッズ購入の列)
 - イ ソファは間隔を空けて座るよう、座れない場所に表示
テーブル・椅子は間引きして配置
- ③ 受付カウンター
 - ア アクリル板の設置
 - イ チケットおよび現金受け渡しにトレーの使用
- ④ 展示室
 - ア 監視員のフェイスシールドおよび手袋の着用
 - イ 観覧者の入室時のチケット確認の緩和
 - ウ 職員の定期的な見回りによる過密状況のチェック
- ⑤ グッズ等販売カウンター
 - ア 受付カウンターの過密を防ぐため、展示室や休憩コーナー等でグッズ等を販売
 - イ 販売カウンター等にアクリルボード等を設置

4 混雑時の入場制限の実施

- ① 展示室…約 260 人
※ 1 m の対人距離をとれる人数 524 m^2 (展示室全体) $\div 2 \text{ m}^2 = 262$ 人
- ② ロビー…約 40 人

5 広報・周知

- ① ホームページ・館内掲示への記載により来館時の注意事項を周知する。
 - ア 来館前の検温実施の要請、来館自粛を求める条件の記載
 - ・ 37.5℃以上の発熱があった場合
 - ・ 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻づまり、味覚・嗅覚障害、
目の痛みや角膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、吐き気・嘔吐の症状がある場合
 - イ 館内での検温、咳エチケット、マスク着用、手洗い、手指消毒の要請の記載
 - ウ 身体的距離の確保徹底の記載
 - エ 入場制限についての記載
 - オ 滞在時間の目安を 1 時間～1 時間半とする要請の記載
 - カ 展示室内での会話を控える要請の記載
 - キ 作品の前で長時間立ち止まらない要請の記載
- ② Twitter での案内を行う。
 - ア 来館時の注意事項
 - イ 随時の混雑状況
 - ウ 待ち時間の目安
 - エ 空いている時間帯、混んでいる時間帯

6 混雑時の対応

- ① ホームページ、Twitter で混雑状況を発信する。
- ② 入場制限を行う場合は、未利用のギャラリー等を入場待ちスペースとして使用する。
- ③ 誘導スタッフを配置する。
 - ア 入場者の整理、制限、誘導等について、専門スタッフを配置
 - イ 混雑状況により、必要であれば誘導スタッフを増員